

いつも食べているお米の生産者と 交流できてよかった 田植え体験

田んぼに入って泥だらけになりながらも、笑顔あふれる田植えツアー。今年も、滋賀県のJAグリーン近江さんに45名と、富山県のJAいなばさんに25名の親子が参加し、手植えでの田植えをしました。じっくり生産者と交流し、もちつき・自然観察などいろいろな体験をさせていただきました。

一回に5本くらいの苗を手で植えるのですが、それはお茶碗に半分ほどのご飯の量にしかならないと聞き、毎日・毎食のご飯のことを思うと、とても貴重なものをいただいているのだなと思えました。今は機械を使って田植えされていますが、作業を見せてもらって何度も苗や肥料を積んでいて、時間は短縮しても大変なことに変わりはないと知る事ができました。 大東市 宮西 育代さん

田んぼがめめめめしてこけそうになりました。いねを3本~5本ぐらいドロの中にうめす。ドロがなくて水だけのところもあったから、そこはまわりのドロをかきあつめてうえました。田うえたのしかったです。 守口市 進藤 光希ちゃん

滋賀県・JAグリーン近江 5月14日

5月21日・22日 富山県・JAいなば

あれこれパルコープのお米をためてみて、行きついたのが「富山コシヒカリ」でした。生協を始めてからずっと食べていますが、まさか、その生産者の方と交流できる日がくるとは本当にびっくりでした。

住吉区 朝川 順子さん



親子で 稲刈り体験しよう

- ① JAいなばコース 定員30名 (富山県小矢部市)
日程 9月24日(土)~25日(日) 1泊2日
集合 8:00(パルコープ本部・京橋)
- ② JAグリーン近江コース 定員40名 (滋賀県)
日程 9月11日(日) 日帰り
集合 8:45(パルコープ本部・京橋)

どちらのコースもバスで行きます

参加費
中学生以上 10,000円
小学生 6,000円
3歳以上 3,000円

参加費
中学生以上 3,000円
小学生 2,000円
3歳以上 1,000円

※このツアーは一般の観光ツアーとは違い、組合員さんに生産者や商品についてより知っていただくためのツアーで、パルコープが一部費用を負担します。ご親族でも組合員さんでない方の参加はご遠慮くださるようお願いいたします(同居家族は組合員です)。
※申込み多数の場合は抽選し、結果ははがきでお知らせします。
※宿泊は相部屋になることもあります。ご了承ください。
※グループでのお申込みの場合は、グループ単位で1枚のはがきにてお申込みください(必ず家族ごとに組合員コードを記入)。
※申込みは1枚のはがきに1コースずつでお願いします。
※はがきで得た個人情報情報はツアーの連絡以外には使用しません。

【申し込み方法】
■往復はがきに、①~⑤を記入の上、申し込みください。
①ツアーのコース名 ②住所 ③参加者すべての名前(ふりがな)と年齢(学年) ④電話番号 ⑤組合員コード
■締め切り 8月6日(土) 消印有効

【申し込み・問い合わせ先】
〒534-0024 大阪市都島区東野田町1丁目5-26
生活協同組合おおさかパルコープ
組合員活動事務局 岡田まで
☎06-6242-0904 (月~土 9:00~17:00)
■詳しくはパルコープホームページに掲載しています(パソコン専用)
http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/tour4.html



昨年のグリーン近江での様子

※稲刈りツアーのお知らせを42号(6月27日発行)に掲載する予定でしたが、都合により今号でのご案内とさせていただきます。お待ちの方々には申し訳ございませんでした。

毎月の検査室だよりはホームページ(パソコン専用)で詳しく掲載しています。
http://www.palcoop.or.jp/au_ji/anzen_kensashitsu.html



商品検査室だより 6月度

お申し出 冷凍 えびピラフ



包材がパンパンに膨らんでいます。今までこのような事がなかったので、気持ちが悪いです。腐敗しているのでしょうか。

検査室からの答え

ご心配をおかけしました。調査(微生物検査・官能検査)の結果、現品の品質に問題はありませんでした。「袋がふくらんでいる」原因は、何らかの原因によって品温が上がり、中の食品の表面に付いた細かい氷の粒が「昇華(しょうか)(固体から気体への状態変化)したためと思われる。冷凍食品で昇華現象が起こると、氷よりも気体のほうが容積が大きいため、パッケージ袋が大きく膨張しパンパンになることがあります。この場合、中身には問題はないのでご安心ください。なお、工場内では包装状態の確認を徹底して行うよう、再度指導いたしました。

夏場は特に、冷凍食品の温度変化が起こりやすい季節です。お届け時に膨張が見られるようでしたら、担当者にお知らせください。また、お届け後は賞味期間内であっても、お早めにお召し上がりいただけますようお願いいたします。

■6月度のコメント■

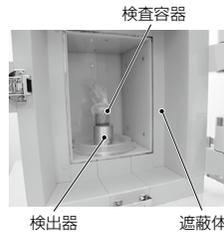
- ★6月度は928件の検査(昨年1125件)と商品の相談受付は457件(昨年454件)でした。
- ★微生物検査・理化学(残留農薬・食品添加物)検査とも、商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。
- ★新規取扱い事前検査で2品で再検査を要するものがあり、1品については再検査実施し、問題のないことを確認しました。1品については、再検査要請中です。
- ★腹痛下痢、スキントラブルなどでの、同一商品の複数発生はありませんでした。

《商品の相談受付状況》

主なお申し出内容(昨年度)		
人体有症	6件(13件)	
異物混入	69件(52件)	
異味異臭	35件(34件)	
他意見・質問など	347件(355件)	
合計	457件(454件)	

組合員さんも生産者も安心できる商品のために

パルコープ商品検査室にて放射能検査がスタート



パルコープでは、6月下旬より枚方市にある商品検査室で、「放射能検査機器(ゲルマニウム半導体検出器)」による、残留放射能検査を始めました。

福島原発事故の影響により、食品の安全に不安を持たれている組合員さんもおられることから、安全安心の確保をすることを目的としています。風評被害に同調せず、産地との合意確認をして、7月1回企画の商品から事前検査を行なっています。

検査対象商品は、

- ①供給前に産地を特定することが可能なもの。
- ②行政がモニタリング検査を実施している産地(県)の農産物・水産物など。

検査方法は、

- ①検査する商品をミキサーで細かく砕き、正確に測定されるようにスキマ無く、専用の検査容器(カップ)に入れる。
- ②遮蔽体(分厚い扉の箱)の中にあるゲルマニウム製の検出器(台)の上に検査容器を乗せて分析の設定をする。
- ③検査容器の底面から出て、検出器を通過する放射線のうちガンマ線(問題となっている放射性ヨウ素・放射性セシ

ウムはガンマ線を出すため)を測定し数値化。万一検査結果が規制値を超えた場合は、産地へ連絡し商品差替え、もしくは供給を中止します。

大切なことは、不正確な数値に踊らされていたずらに不安がるのではなく、きちんとしたデータを基にして「冷静に怖がる」ことではないでしょうか。産地が安心して供給し、組合員さんが安心して消費できることで、引き続き、お互いの信頼関係も継続します。そのために検査を行なっていきたく思います。
(商品検査室担当・松谷淳平)